

# たるみ歯科通信

2016年7月号 No.67

こんにちは。受付の林です。

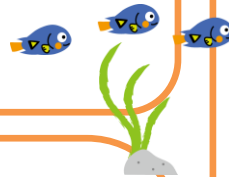
蒸し暑い日が続きますね。まるでサウナにいる気分で、早くも夏バテ状態です。

皆さんも体調にはお気を付け下さい。

さて、夏が近づくとつれて、遊びや学校行事が特に多いこの季節は、歯の外傷で救急来院されるお子様がとても多いです。

歯の外傷は、適切な応急処置や症状に応じた対応が必要となります。

そこで、今月の通信は「歯の外傷時の対応」についてお話をします。



外傷でぶつけるのは上の前歯が多いです。

ぶつけた歯が乳歯であっても、後から生えてくる永久歯に悪い影響を与えることがあるので、歯の状態を長期に観察する必要があります。

何ともない場合でもしばらく経ってから問題が起こる場合もあるので、

歯に外傷を受けたら必ず歯科を受診してください。

《こんなことが起こります！》

歯が欠ける。

歯がグラグラ動く。

歯がねじれる。

歯ぐきの中にめり込む。

出血する。(唇・歯ぐき・舌・小帯)

など。

歯科医院に連絡する際に伝えること

- ・怪我の状況 (いつ、どのように)
- ・お子様の年齢
- ・その歯が乳歯か永久歯か



## 応急処置の基本



### (1) 吐き気やめまいがある場合

頭痛や吐き気、めまい、嘔吐などの症状がみられる場合は、まずお子様の意識状態や反応を確認して、すぐに専門診療科に連絡をしてください。

### (2) 歯が抜けた場合

永久歯の場合、抜けた歯を元に戻せることがあります。

抜けた歯の根っこには触らずに汚れだけをさっと水で洗い流します。

歯を乾燥させないように保存液や牛乳につけて、すぐに歯科医院に連絡をしてください。

### (3) 歯が欠けた

歯の破片があれば、くっつけることができますので、

欠けた破片がある場合はお持ちください。

歯の中の神経が出てしまっている場合があるので、

すぐに歯科医院に連絡をしてください。



お子様は意外な場所で思いもよらない怪我をしてしまいます。

歯に外傷を受けたときは、まずその歯が乳歯か永久歯かを確認し、歯科医院に連絡をして指示をもらい、焦らず適切な対応をしてください。

休日や夜間の外傷は「休日歯科診療所」や「阪大歯学部病院」

などの救急対応をしてくれる施設に連絡をしてください。

## 7月の予定

◇ 院内研修のため 15日(金曜)午後 は **休診** と致します。

◇ 矯正診療日は 21日(木曜)午後 です。

